

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ

Theme

「親子で作って食べよう！！」

学校・園名

School name

豊郷町立日栄小学校（6年生）

講師等

Lecturer etc.

滋賀県健康推進員団体連絡協議会

実施日

Date

平成 24 年 6 月 22 日

教科等

Subject etc.

家庭科

授業

Class

今回は、親子活動で、食育をかねて調理実習をしたいというご要望があり、連携が実現しました。メニューは、デザート「りんごパフェ」です。まずは、講師の方々が、使う果物などの材料や手順を説明してくださいました。調理に入って、最初は、火にかけた鍋や包丁をおそろおそろ持っていた児童たちも、保護者と一緒になることで、徐々に慣れた手つきになっていきました。

後半は、食べ物は体の中でどうなっていくのかを、エプロンシアターで、わかりやすくお話してくださいました。エプロンシアターとは、エプロンを舞台にした劇（お話）です。今回は、胃や腸などがついたエプロンで、腸は実際の長さ（5m～8m…子どもと大人で違う）で作られており、それを伸ばした実際の長さを見て、児童・保護者ともにとってもびっくりしていました。このように、一緒に楽しく活動することで、体のことや食について児童が保護者と改めて話をしたり、考えるきっかけになりました。



感想

Impression

児童・保護者より Impression from Children and parents

- エプロンシアターは、体内の様子がよくわかりました。体によさそうなメニューで、また、作ってみたいです。
- 普段、一緒に調理をすることがないので、包丁の使い方等、教えてあげることができました。友だちと仲良く実習をしている姿が印象的でした。

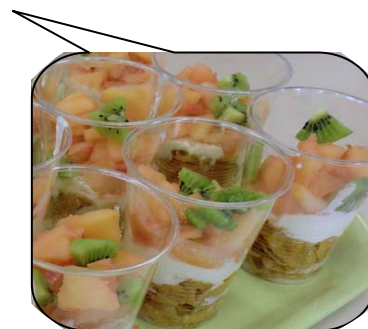
学校より Impression from school

丁寧に、カロリーや予算の計算、メニューの紹介等をしていただき、助かりました。

講師より Impression from lecturer

簡単に出来るデザート作りを実施し、子どもと保護者が一緒にフルーツを切ったりしながら、楽しく調理しました。美しく盛りつけられたデザートをいただきながら、エプロンシアターを通して体のしくみや働きを身振り手振りで、皆さんと共に学びました。子どもたちは、興味深く見てくれましたし、実際の小腸の長さにびっくりしていたのが、印象的でした。

子どもたちも保護者も、食べた物がどの様に体を通り、どんな役割を持っているかということがわかっていただけたと思います。貴重な時間が過ごせました。今後もこの様な取り組みに向けて、私たち健康推進委員も頑張っていきたいと思ひます。



当日のメニュー